

プロジェクト名：インド国マハラシュトラ州揚水発電開発計画予備調査

(調査期間：1994年1月～1.0ヵ月、担当業務：環境影響評価)

調査背景

インド国政府は、1992年6月、同国中西部マハラシュトラ州における揚水発電開発計画調査につき、わが国政府に対し要請した。マハラシュトラ州は、州都ボンベイを抱える総人口78,000千人の大州であり、電力消費量はインド国内最大である。調査時点で電力供給は安定しているものの、ピーク時における至近年の電力不足が懸念されており、揚水発電計画を対象とした開発調査が重要になっている。揚水発電は河川流量からの束縛がほとんどなく、地点選定、規模決定が比較的自由であり、最適計画が策定しやすく、マハラシュトラ州にはその地勢的特徴から適地が豊富である。

調査概要

ところがインドでは、ナルマダ川開発計画、ガドガール揚水発電開発計画等、環境・移転・補償関係の問題でプロジェクトの実施が中断する例が多く見られる。また、候補地点の比較選別の際に重要な要素となるものは、森林保護、水利既得権益侵害を主体とした環境の要素である。全体に森林の伐採が進んでおり、残されている森林の殆どは保護地域に指定されており、開発と保全の兼ね合いが大きな課題となっている。本調査には環境配慮の担当として参画し、既存の類似プロジェクトの環境影響評価上の問題点の検討、環境保全全般に関する行政・組織・法令等の情報収集及び解析、候補地における環境調査等を実施した。

担当事項

- 既存または進行中の電源開発プロジェクトでの環境影響評価上の問題点の抽出。
- 環境保全に関連する行政、組織、法規、ガイドライン等の情報収集及び解析。
- 候補地における現地踏査を通じた環境の現状調査。